



株主の皆様へ
第79期
中間事業報告書

自 平成27年 4月 1日
至 平成27年 9月 30日

森下仁丹株式会社



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第79期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
駒村 純一

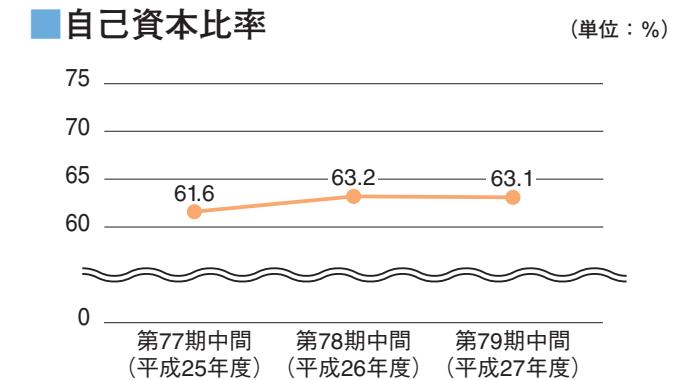
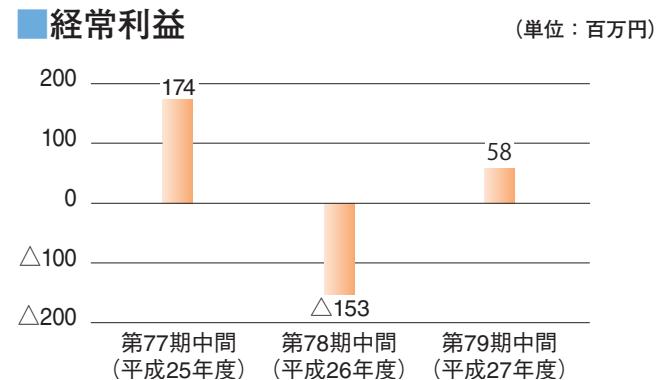
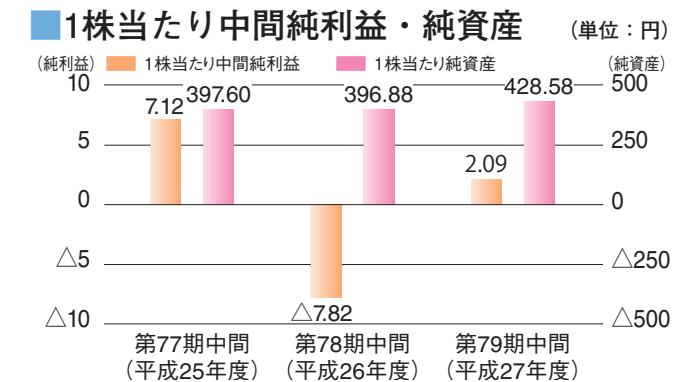
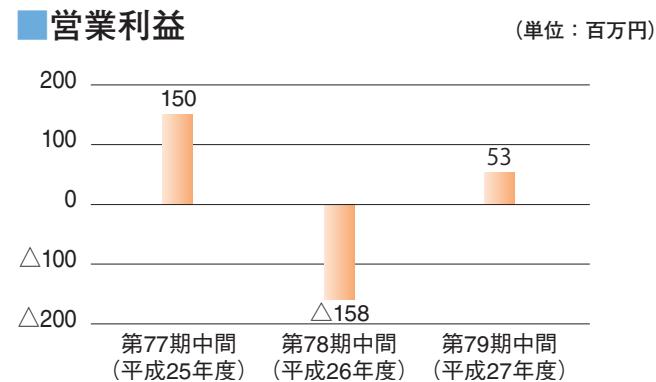
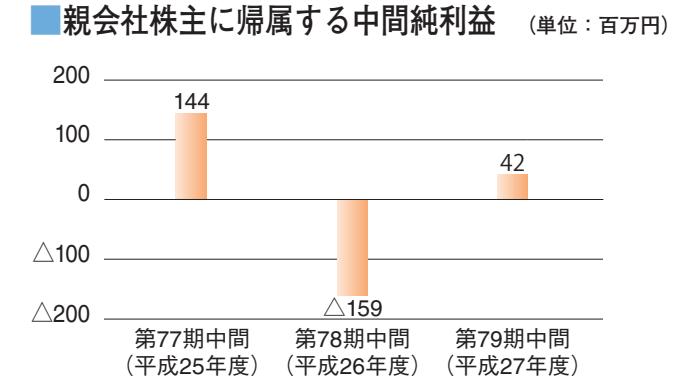
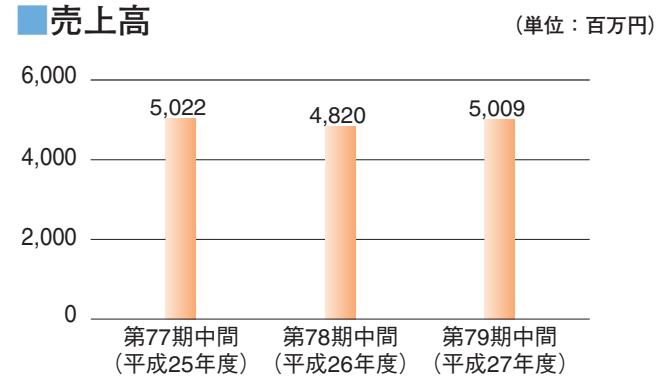
事業の概況について

当中間連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。但し、欧州経済の停滞、中国経済の減速などへの警戒感もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

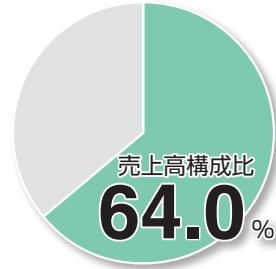
当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、本年4月より食品の新たな機能性表示制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして本年6月からの機能性表示食品「ヘルスエイド® シリーズ」の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は5,009百万円と前年同中間期と比べ188百万円の増収となりました。

利益面においては、コストダウン諸施策による原価率の低減により、売上総利益は2,572百万円と前年同中間期と比べ197百万円の増益となりました。また経費の効率化等に努めた結果、営業利益は53百万円と前年同中間期と比べ211百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は58百万円と前年同中間期と比べ211百万円の増益となり、親会社株主に帰属する中間期純利益は42百万円と前年同中間期と比べ201百万円の増益となりました。

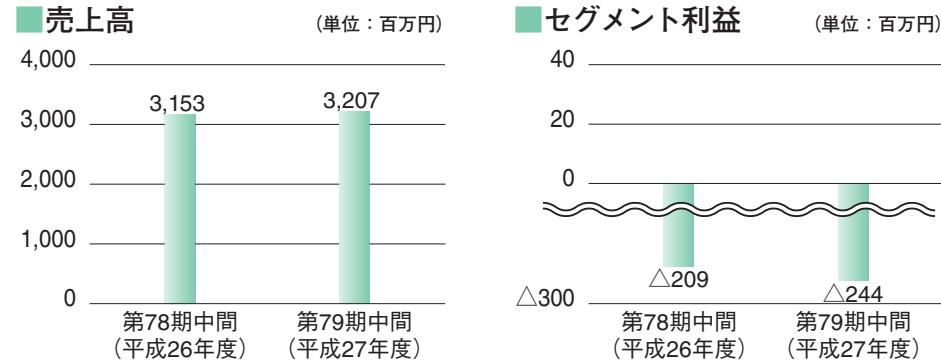


ヘルスケア事業

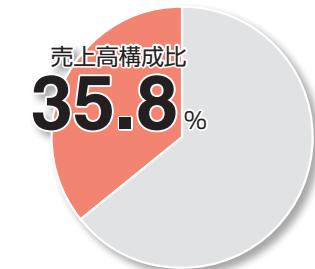


機能性表示食品が消費者庁の受理の関係上6月以降順次の発売と若干ズレ込んだことや、オーラルケア商品を中心に力強さに欠け、その結果、ヘルスケア事業の売上高は3,207百万円と前年同中間期と比べ53百万円の増収に留まりました。

損益面では、プロモーション費用等の経費の効率化に努力しましたが、機能性表示食品のプロモーション活動の先行投資的な費用負担は大きく、セグメント損失は244百万円と前年同中間期と比べ35百万円の減益となりました。

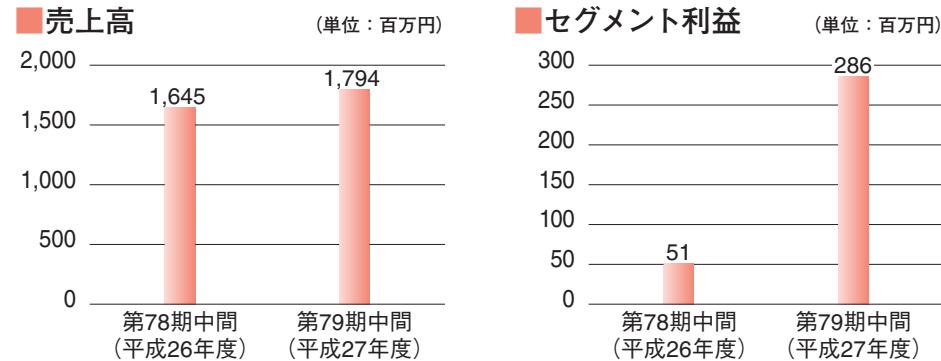


カプセル受託事業



フレーバーカプセルは引き続き順調に推移した一方で、医薬品カプセルやその他の受託は前年同期比で落ち込み、その結果、カプセル受託事業の売上高は1,794百万円と前年同中間期と比べ149百万円の増収となりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善や効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は286百万円と前年同中間期と比べ234百万円の増益となりました。



中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当中間連結 会計期間 (平成27年9月30日現在)	前連結 会計年度 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	4,847	4,465
固定資産	8,958	8,887
有形固定資産	6,438	6,528
無形固定資産	230	251
投資その他の資産	2,289	2,106
資産合計	13,805	13,352
負債の部		
流動負債	2,807	2,369
固定負債	2,279	2,371
負債合計	5,087	4,741
純資産の部		
株主資本	8,032	8,051
その他の包括利益累計額	686	560
純資産合計	8,718	8,611
負債・純資産合計	13,805	13,352

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当中間連結会計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	5,009	4,820
売上原価	2,437	2,446
売上総利益	2,572	2,374
販売費及び一般管理費	2,518	2,532
営業利益又は営業損失(△)	53	△158
営業外収益	15	19
営業外費用	10	14
経常利益又は経常損失(△)	58	△153
特別損失	—	0
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	58	△153
法人税、住民税及び事業税	21	9
法人税等調整額	△5	△3
中間純利益又は中間純損失(△)	42	△159
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	42	△159

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	当中間連結会計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	307	373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△251	△342
現金及び現金同等物の増減額	△80	△29
現金及び現金同等物の期首残高	1,500	1,181
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,420	1,152

TOPICS 7 新製品のご紹介

災害などのいざという時に備えて
「携帯できるトイレ」!

レスキューキット
「もってて安心トイレ」発売

東日本大震災において外出先で被災したケースが多かったことから、かばんに入れて持ち歩けるコンパクトな防災キットの第2弾として発売。



9月1日(火)より発売
【価格】1,400円(税抜)

MEDICARE

～独自素材「自着性ポリウレタンフォーム」をOTCで唯一採用した高機能絆創膏

『ハイドロウェット[®]α』
『ハイドロウェット[®]α防水タイプ』



特殊パッド使用の
『アルゲキユア[®]』



3商品を
リニューアル発売

10月1日(木)より順次発売

Health Aid 新サプリメントブランド
「ヘルスイド[®]」から3商品を発表

「コレステロールファイバー」
「仁丹のサーデンケア[®]」



9月18日(金)より発売
特定保健用食品

「還元型コエンザイムQ10」



11月24日(火)より発売
機能性表示食品
【価格】
7日分(7包) 1,100円(税抜)
20日分(20包) 2,800円(税抜)
30日分(30包) 4,000円(税抜)
日常の中で感じる
身体的な疲労感を軽減

TOPICS 2 「第2回アグリサイエンスグランプリ」にて
「微生物触媒工学チーム」に「森下仁丹賞」を授与
～「微生物触媒工学チーム」と連携して事業化にチャレンジします～

当社は、株式会社リバネスが10月3日(土)に主催した、農林水産分野限定のビジネスプランコンテスト「第2回アグリサイエンスグランプリ」において、「微生物触媒によるあたらしい農業」をテーマに発表した「微生物触媒工学チーム」に企業賞「森下仁丹賞」を授与しました。
当社は、粉末や液体に加え「微生物触媒工学チーム」が研究したテーマとも関連する、生きた微生物などのあらゆるものを包むことができる「シームレスカプセル」技術をもってあります。
今回選出した理由は、当社の「シームレスカプセル」技術と「微生物触媒工学チーム」の「微生物触媒によるあたらしい農業」を組み合わせる事で、もっと面白いことができるのでは、との期待を含めて選出いたしました。今後、「微生物触媒工学チーム」と連携して、事業化にチャレンジしていきたいと思っております。



最終選考会にて、企業賞「森下仁丹賞」を授与
(左から 原富次郎 受賞チーム: 微生物触媒によるあたらしい農業
(株)、見立啓貴教授 (山形大学))

■企業賞概要

最終選考会にて、9つの企業賞が決定。企業賞を獲得したチームは、企業と連携のうえ、事業化に向けたチャレンジを開始します。

企業賞: 森下仁丹賞 受賞チーム: 微生物触媒工学
代表者: 原富次郎 受賞テーマ: 微生物触媒によるあたらしい農業

■「第2回アグリサイエンスグランプリ」について

株式会社リバネスが主催するビジネスプランコンテストです。農林水産や食分野の未来を切り拓く新しいテクノロジーや、その社会実装に情熱を持った人材を発掘し、事業化へつなげる事を目的としております。
本グランプリは、審査基準を「世界を変えようか」「パッション」「新規性」「実現可能性」の4つとし、世の中にインパクトを与えるスタートアップの発掘・育成を行っています。優勝者には賞金および事業投資500万円を受ける権利が与えられます。

TOPICS 3 「シームレスカプセル」技術を
応用した
アカデミア向けの
カプセル化受託サービスを
(株)リバネスと共同で
事業化開始

当社は、2015年9月1日より当社の「アカデミア向けのカプセル化受託サービス」を株式会社リバネス(本社:東京都新宿区/代表取締役CEO:丸幸弘)と共同で事業化を開始しました。

当社は「シームレスカプセル」のバイオニアとして40年以上にわたり、製造ノウハウを磨き続けてまいりました。本「シームレスカプセル」技術は、粉末から液体、生きた微生物などを包むことができ、皮膜には耐酸性、耐熱性、半透膜性などさまざまな機能を持たせることが可能です。その技術は、従来より医薬品や健康食品、産業用分野まで広く活用され、受託事業を拡大してまいりました。

この度、長年培った「シームレスカプセル」技術をもとに、アカデミアの方向けに小ロットからでもご提供可能な、「カプセル化受託サービス」を開始し、カプセル技術に興味を持つ研究者と連携し、「シームレスカプセル」の可能性拡大を目指します。

役員

代表取締役社長	駒村純一	監査役(常勤)	高田真一
取締役名誉会長	森下美恵子	監査役	澤田真一
取締役	武貞文隆	監査役	石原真一
取締役	上村秀人	常務執行役員	目黒真一
取締役	齋藤洋一	執行役員	森田真一
取締役	森下雄司		

- (注) 1. 取締役のうち齋藤洋一氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち澤田真一、石原真一の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

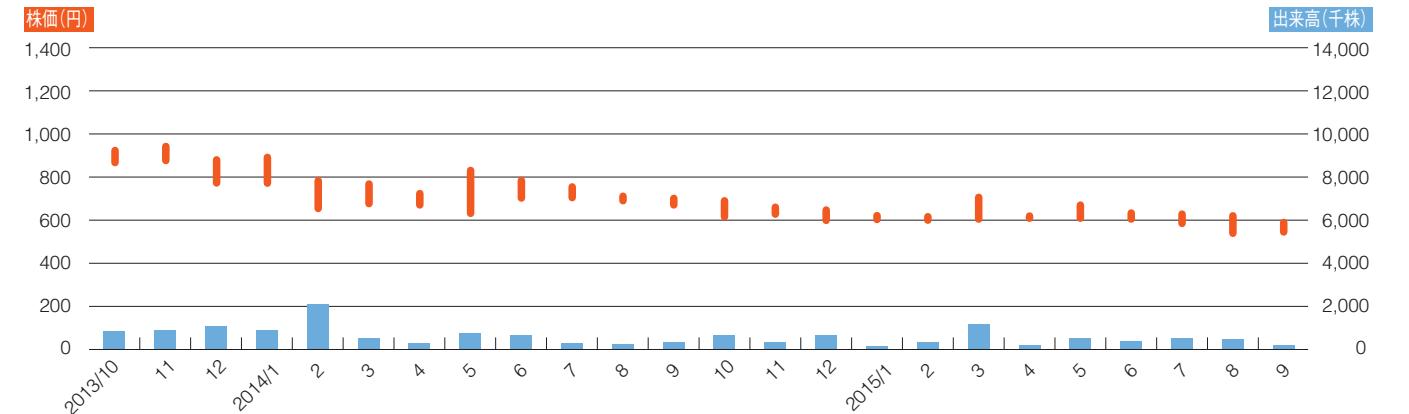
商号 森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資本金 35億3,740万円

事業の内容 医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売

事業所および工場

本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話(06)6761-1131(代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話(072)800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話(0749)48-7370
長浜工場	滋賀県長浜市小野寺町字下寺70番7	電話(0749)74-8500
東京オフィス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話(03)6206-8138

株価および出来高推移



株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<http://www.jintan.co.jp>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

電話(通話料無料) 0120-094-777

当社ホームページのご案内

当社WEBサイトで各種情報を公開しております。
是非一度ご覧ください。

<http://www.jintan.co.jp>



▲ トップページ



▲ IR情報